

平成 14 年度 第 3 回宇都宮市保健衛生審議会 議事録

日 時：平成 14 年 12 月 17 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

場 所：市役所本庁 14 A 会議室

出席者：中田（敏）会長，今井副会長，中山委員，小島委員，中田(功)委員，螺良委員，菱沼委員，糸委員，大牧委員，篠原委員，湯澤委員，瀬尾委員，添田委員，今井(キ)委員，鈴木委員，小川委員，円藤委員，小池委員

欠席者：柳川委員，中村委員，伊藤委員，田嶋委員

傍聴者：1 名

議事等	発言者	発言内容
開会	保健福祉総務課 課長補佐	<p>委員のみなさまには、大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。</p> <p>定刻でございますので、ただいまから平成 14 年度第 3 回宇都宮市保健衛生審議会を開催いたします。</p> <p>今回の審議会は、任期満了に伴いまして、新たな委員によります初めての審議会になりますので、会議に先立ちまして、福田市長より、ごあいさつ申し上げます。</p>
市長あいさつ	福田富一市長	<p>みなさん、こんにちは。師走のお忙しい中、委員を快くお引き受けいただき、そしてまた第 3 回の保健衛生審議会にご出席いただきましたことにつきまして、あらためて心から御礼を申し上げます。</p> <p>この審議会におきまして、すでにご審議をいただきました生活習慣病の予防を柱といたしました健康づくりの指針として、「健康うつのみや 21」を策定したところでございます。おもに計画策定にあたりましては、委員のみなさま方のご支援ご協力を賜わり、この場をお借りいたしまして、改めて心から感謝を申し上げます。</p> <p>今後、この計画にもとづきまして、市民の健康づくりのための諸施策に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>すでにタバコにつきましては、学校敷地内の全面禁煙ということで、来年の 4 月 1 日実施ということで取り組み始めたところでございます。全国から教育委員会には賞賛の手紙・メール等が届いているようでございます。その中には、栃木県としては東照宮造営以来の快挙だと、そういうメールもあったそうでございます。</p> <p>さて本日審議をお願いしております「母子保健計画」についてであります。近年の少子化、核家族化の進展、あるいは共働き家庭の増加など、子どもと家庭を取り巻く環境が大きく変化する中で、21 世紀を担う子どもたちが健やかに生まれ育つことができるために、母子保健の重要性は、ますます高まっております。</p> <p>このようなことから、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整備していくため、家庭や学校、地域社会、企業、行政などが具体的にどう取り組んだらよいかを明らかにする「母子保健計画」を策定してまいりたいと考えております。</p> <p>今後、みなさまの貴重なご意見をいただきながら、市民の健康づくりの推進そして生活衛生の向上に努めてまいりますので、お力添えをお願いし、簡単ではございますが冒頭のあいさつとさせていただきます。</p>

議事等	発言者	発言内容
委員紹介	保健福祉総務課 課長補佐	<p>続きまして、会議次第3の委員紹介に移りたいと思います。委員の皆様にご挨拶をお一人ずつ市長からお渡しするところではございますが、すでにお手元に配布させていただいておりますので、ご了承いただきたいと存じます。</p> <p>それでは、お配りしてあります名簿順に委員の皆様方をご紹介させていただきます。</p> <p>まず、第1号委員市議会議員として、 今井恭男委員です。中山慶恵子委員です。小島延介委員です。</p> <p>次に、第2号委員学識経験者として、 柳川洋委員ですが、本日欠席でございます。中村好一委員同じく欠席でございます。</p> <p>次に、第3号委員各種団体の代表いたしまして、 宇都宮市医師会から、中田敏良委員です。宇都宮市歯科医師会から、螺良勉委員です。宇都宮市薬剤師会から、菱沼昌之委員ですけれども、遅れて会議に出席する旨の連絡が入っております。</p> <p>次に、栃木県看護協会から、伊藤正子委員ですが、本日欠席でございます。 栃木県栄養士会宇都宮支部から、桑まり子委員です。 栃木県済生会宇都宮病院から、中田功委員です。 栃木県獣医師会栃中支部から、大牧辰男委員です。 栃木県食品衛生協会宇都宮支部から、田嶋光男ですが、本日欠席でございます。 栃木県生活衛生同業者組合協議会宇都宮支部から、篠原秀夫委員です。 宇都宮市自治会連合会から、湯澤博委員です。 宇都宮市民生委員児童委員協議会から、瀬尾光男委員です。 宇都宮市女性団体連絡協議会から、添田包子委員です。 宇都宮市商工会議所から、今井キヨ委員です。 宇都宮市小学校校長会から、鈴木孝明委員です。 宇都宮市食生活改善推進団体連絡協議会から、小川擁子委員です。</p> <p>次に、第4号委員の公募委員でございますが、 円藤弘子委員です。小池操子委員です。</p> <p>以上、22名の委員構成でございます。</p> <p>会議の途中でございますが、福田市長にはこの後の予定がございますので、ここで退席させていただきます。</p>
職員紹介	保健福祉総務課 課長補佐	<p>続きまして、本日出席しております市の職員をご紹介いたします。</p> <p>保健福祉部長の河原です。保健福祉部次長の栗田です。 保健福祉部次長兼保健所長の中村です。 保健福祉部総務担当主幹の青柳です。 保健福祉総務課長の鈴木です。 健康課長の斎藤です。保健予防課長の縄です。</p>

議事等	発言者	発言内容
会長・副会長選出	保健福祉総務課課長補佐	次に会議次第4の会長・副会長の選出ですが、審議会規則第2条第4項の規定により、委員の互選によって定めることとなっております。いかがいたしましょうか。
	瀬尾委員	会長には、医師会の会長でもあり、また当審議会の前会長でもありました、中田敏良委員に引き続きお願いしたらいかがかなと、このように思います。また、副会長には、行政全般はもちろんでございますが、環境問題やその他に幅広い知識をお持ちになり、また、現在、市議会の方では厚生常任委員会とご活躍されていると伺っておりますが、今井委員に引き続き副会長をお願いしたらいかがかなと、このように思いますがいかがでしょうか。ご提案します。
	保健福祉総務課課長補佐	<p>ただいま、会長には中田敏良委員、副会長には今井恭男委員との声がございましたが、いかがでしょうか。</p> <p>- 異議なし -</p> <p>それでは、中田敏良委員に会長、今井恭男委員に副会長をお願いしたいと存じます。恐れ入りますが、会長の中田敏良委員・副会長の今井恭男委員には、前の会長席、副会長席にお移りいただきたく存じます。</p> <p>それではここで、会長・副会長を代表いたしまして、中田会長に、ごあいさつをいただきたく存じます。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ご紹介いただきました、中田でございます。今井さんどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>今まで同様にこの会長職をお引き受けいたしましたところでございますが、今回からの審議は、健やかな親子を作るという母子保健でございます。母子保健は、私は産婦人科の医者でございますので、専門に入っております。今までよりもむしろ、やりやすいような感じがしてお引き受けしたところでございますが、小児科の医師と産婦人科の医師が専門医ということになっております。</p> <p>最近、私たちの外来をみておりますと、非常にその若い子達のマナーが悪いというふうなことを目にするわけでございます。私たちの外来におりましても、大きな声で互いにしゃべりあったり、若いといっても高校生ですね、中学生もたまにいることはあるのですが、タバコを吸ったり、それから妊娠しても、妊娠したことに対して、どうしたらいいか分からないから、カウンセラーを誰か紹介しろとこんなふうな言い方をするような、子ども達が多いという現実を感じております。</p> <p>その他にも、今日話題になると思いますが、性感染症・クラミジアなんかを治療しようかといいますが、あれはまわりもんだから治療する必要はない。こういうふうな言い方をする子どもも最近おります。</p> <p>そういうことを身近に感じておりますので、欧米諸国からみますと幼児教育が十分にいけないのだろうというところから、こういうことになっているのだろうと思いますが、幼児教育といっても、幼児を守る時代になるのでしょうか、私達が育てた子どもの子どものということになりますが、その子どもの教育を私達が責任を持た</p>	

議事等	発言者	発言内容
	保健福祉総務課 課長補佐	<p>なければならぬと感じております。</p> <p>ですから、その子ども達をいい状態に戻すようにするには、十分な討議をしてやっていかなければならないと思います。</p> <p>県の方でも、医療保健の保健医療計画調整会議というのがございまして、そこで同じような仕切りをしているものですから、おそらくそこでも各市町村におろしてくると思いますから、一緒になってやっていかなければと思います。</p> <p>ご存知のように、少子・高齢化といいますが全く違う時点で考えていかなければならないと思っております。高齢化は今の先進国としましては、必ず通らなければならない道ですし、日本だけではなくいろんなところでいろんなことをやっているのですが、それは先が見えているという。しかし、少子化に対しては、これからの問題です。</p> <p>少子化を是非我々はやっていかないと、宇都宮の空洞化とかそういうところが埋まってこないというふうに思います。</p> <p>結果的には、健やか親子21をみましても、子どもを安心して産んで、安心して育てるような宇都宮市を作っていくための、審議会だと思っておりますので、そのためには一緒に行政の縦割りではなくて、横の連携を深めましてやっていかなければならないとともに、通り一辺の上だけの表面だけの討議をするのではなくて、個々の実体験に基づいた論議をしていき、よりよいものを作っていきたいと、このように思う次第でございますので、ぜひこれからのご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、簡単でございますがあいさつに変えさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、会長にこれ以降の議事の進行をお願いいたします。</p>
議事	<p>会長</p> <p>健康課長</p> <p>会長</p> <p>健康課長</p>	<p>それでは、会議の次第に従って、会議を進めていきたいと思っております。</p> <p>宇都宮市母子保健計画の策定につきまして、母子保健計画の概要につきまして事務局よりお願いいたします。</p> <p>資料1に基づいて説明。</p> <p>市民アンケート調査についても一緒にやってください。</p> <p>引き続き、資料2に基づいて説明。 参考資料1・2に基づいて説明。</p>

議事等	発言者	発言内容
	会長	<p>今事務局から説明があったところですが、参考資料1・2についても説明していただいたということでございます。それらについて委員の方々のご意見をこれから伺っていききたいと思うわけでございます。</p> <p>まず資料1についてですが、こういうふうな概要があるわけですが、これについて参考資料も関係あると思いますが、グループインタビューを行ったわけですね、67名に対して、これはどういうものを対象にしたお話しいただけますか。</p>
	岩淵主査	<p>妊婦・出産・子育て期の妊婦さんについてですが、保健センターでママパパ学級という講座を実施しているのですが、そちらのほうに参加していただいた、妊婦さんとそのご主人にご協力いただきましてお話を聞きました。</p> <p>乳幼児の親ということにつきましては、0歳から6歳までということですが、在宅児のお子様方につきましては、子育てサロン石井というところがあるのですが、お子さん達が保育園に行き、遊んだりしていただく場所なのですが、そこをご利用いただいているお母様方。それから保育園を利用している方のお母さんお父さん達。それから、幼稚園を利用している方のご父兄達にお集まりいただいて、乳幼児の親ごさんたちにはお話を聞きました。</p> <p>小学校、中学校につきましては、小学生、中学生、各学校に出向きましてお話を聞きました。</p> <p>それから、高校生につきましては、宇都宮のリーダースクラブ、こちらのほうにご活躍いただいている高校生にきていただきました。</p>
	会長	<p>そういう方をアトランダムに抽出して、インタビューをやったと、そういうことですね。</p>
	岩淵主査	<p>はい</p>
	会長	<p>資料1の策定概要について、何かご質問、ご質疑がありましたらお願いいたします。</p>
	中田(功)委員	<p>8年といったのはかなり長い期間だと思うけれども、国及び県ではすでにこれに類似した計画策定がされていると書いてあります。計画が実施されているところもあるのではないかとと思うが、8年のスパンというのは根拠があるのでしょうか。</p>
	健康課長	<p>先ほど申し上げましたように、国や県が22年度までの計画ということで、国の方でも22年度までの計画を市町村では作れという形でできております。その中で、先ほどご指摘ありましたように、長いスパンの中では中間で見直しをさせていただきたいということで考えているところでございます。</p>

議事等	発言者	発言内容
	会長	<p>そうすると4年後位に見直すのですか。他にはご質問、ご質疑、変更など、どなたかございましたらどうぞ。</p> <p>グループインタビューの結果というところが、参考資料2として出てきているわけですが、16日から27日まで11月にやったということで、いろいろ混在はあったと思いますが、</p> <p>妊娠及び出産期についてご質問、なければ次の子育て期、参考資料を見ていただいて結構だと思います。</p> <p>母親が子供と過ごす時間が長い時間自由な時間が取れず、ストレスが多く、優しくできない、とありますけれども、これはどういうふうに分けたらよろしいですか。</p> <p>こういった母親っているのですか。虐待とか話題になっていますが、それは全体からみればほんの一部であろうと私は思うのですが、それについて、これは何人の人がこう言ったのでこう書いたということなのですか。</p>
	岩淵主査	<p>子育て期のお母様方としては、保育園の親7人、幼稚園の親9人、在宅の親6人ということで、お伺いしたわけなのですが、だいたいの方は忙しいって言うんですね。それで、お父様方はまずお仕事が早く帰れない、あるいは、単身赴任で海外まで行っているような形ですので、ずっと親子だけで生活しているって声は結構多かったです。ただ宇都宮市全体でどのくらいの数とかいうことにつきましては、まだつかんでいないので、これからアンケート実施していく中で、両親どんな形で働いているのかということは明らかにしていければいいかなと思っていますところ。</p>
	会長	<p>わかりました。こういうご意見があったということ、羅列したということでもよろしいですね。そのような解釈をしていただければと。今日初めて参加の委員の方々いらっしゃいますけど、円藤委員さんいかがですか。こんなふうなことってというのは、若い母親のこと、小池さんのほうがよろしゅうございますか。そんなふうに感じている人多いのですか。</p> <p>何かご意見があったらどうぞ。</p>
	円藤委員	<p>結構多いと思っているが、あんまりこういう実感はなかった。</p>
	会長	<p>私も、子育てしたのは随分前ですが、それなりに円藤さんのおっしゃること分かります。保育園を含めた職場サービスをしっかりしてほしい、在宅の親からでておりますが、そういうところはどうか。そういった意見は多いのですか、添田委員はいかがですか。</p>

議事等	発言者	発言内容
	添田委員	<p>策定にあたる基本的なことにもなるのかなと感じますが、直接的な対象者ということで調査については評価する。それとあわせて、家庭内における母子保健という形、それぞれ子育て一つを取り上げても、年齢の高い立場にいる人たちからすると、やはり、家庭内での子育てというものが大事だという、そういう意識があります。くどくなりましたが、そうみますと、その対象になっている人というのはいくらも広がるような形ですね、このアンケートで取り組みたいものはどのようなものなのかなと、こんなふうな気持ちを持っておりますので、質問になるかと思いますが、お考えを聞かせていただきたいと思います。</p>
	会長	<p>要点をちょっと言っていただきたいと思いますが。</p>
	添田委員	<p>家庭内教育という時に、おじいちゃんおばあちゃんも含めてですね、それから、今妊婦だという母親だけで、それから家庭におけるそれぞれの子育て期間というようなものが、支えあっていくというような、そういうものも必要になってくるのではかな、という考えがあるものですから、この母子保健計画を作るという時に、そういう範疇まで広げるという考え方について、いかがかということです。</p>
	会長	<p>おっしゃっている意味は、結局家族支援ということですね。家族政策というか。</p>
	添田委員	<p>地域も含めてということになります。</p>
	会長	<p>まあ、ご存知のように、欧米諸国も含めまして、このような少子化の問題を話したときに、家族政策というのと、いわゆる支援の政策という、いわゆるお金の支援ですね。そういった支援と、家族政策と、二種類があると思います。それをどの程度までやっていくかは分かりませんが、家族政策でいい結果をでているような話しもちょっと聞きますが、そういった話しを言っていると思いますが、どうですか課長。</p>
	健康課長	<p>今回のアンケート、グループインタビューにつきましては、こちらといたしましては当事者という形で、整理させていただいたところでございます。今添田委員さんからでたお話しも、内部ではでていることもございました。そんな中で、アンケートがいいのかまたは別の形で、そういったご意見等がいただける材料として、うまく取れるかどうか、その辺も含めまして、ちょっと検討させていただければと思います。</p>
	会長	<p>アンケートの対象を、もうちょっと広げたらどうかというふうなご意見ですね。これからアンケートのところについても話しは一緒になっておりますが、この参考資料の1にございますけれども、携帯電話という話しはいかがなのでしょう。子ども達は携帯電話もっていない人いないくらいですよ。</p>

議事等	発言者	発言内容
	中田(功)委員	<p>携帯電話を取り上げたらどうなるかということ論議するところではないと思いますが、これは、子どもの交友関係が見えない、確かにメール友達で事件が起こったということではありますが、今の若い人達、携帯電話に関してはどうなのだろうと思いますが、どなたかご意見ございますか。こんなふうなことを言った人がいるということで、とどめておきたいと思います。</p> <p>次にアンケートの調査につきまして、1月から2月にかけてこれをしたいということになりますが、項目について、こんなものを増やした方がいいものなど、先ほど添田委員さんから出ました意見は、対象をもっと違う年齢層に広げたらいいのではないかなということですが、その他に何かあればお願いします。</p> <p>ちょっと話しがずれるかも知れないですけど、私ども乳児院ではですね、全国からもくるが、もしも相談というものを週3回実施している。そこに膨大なデータ - といいですか、聞きどころといいですか、悩みどころがあると思うのです。</p> <p>そうとうな年数なので、そういうのを参考にするといいのかと思いました。</p>
	会長	<p>市のほうも、そういうのを参考にして作ったのですよね。</p>
	健康課長	<p>私どもといたしましては、統計データといたしましては今集めさせていただいているところです。できましたら、そういったデータにつきまして、生のデータですので喜んでご利用させていただければと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
	会長	<p>ちょっと、ご利用させていただきますはいいんですけど、1月から2月にかけてやるのですよね。今12月だから、それ程緊急に行わなくても。</p>
	健康課長	<p>アンケート調査につきましては、1月から2月にやるわけですが、現状の分析とか課題の抽出につきましては、アンケート調査それから各種の統計資料とか、そういったものに基づきましてやるつもりです。</p>
	会長	<p>それは分かるのですが、今はこのアンケート項目についてお願いしているわけだから、これからここに組み入れていくとなると、かなり大変な作業になりますよね。</p> <p>これでいいかどうかということを審議会にかけているのですよね。</p>
	健康課長	<p>アンケートの項目じゃなくて、その中のデータ - をそのままご利用させていただければと思うのですが。</p>
	会長	<p>分かりました。今あの議論から話しがずれましたけど、この項目以外にも何か聞いてもらいたいことがありましたら、どうぞおっしゃってください。</p>

議事等	発言者	発言内容
	柔委員	<p>医療機関に勤務しているが、医療機関には保育所があります。そこでは看護師さんしか預けてなくて、現状は補助が受けられないのです。</p>
		<p>そこで勤務している他の人が入ると、補助がこないようなのです。こういうところで、医療機関が保育所を持っている施設があって、そういうところからのアンケート調査も実際働いているお母さん達、そして子どもを産みたいのだけど、子どもを産むにはそれには辞めなくてはいけない、長く勤めたいのだけど辞めなくてはいけない、という方で辞めてらっしゃる方がいらっしゃるのですが、そういった施設でのアンケート調査はやられたことはあるのでしょうか。</p>
	健康課長	<p>行政のアンケートという形になりますと、市の範囲では特定の施設での調査はやっていないと思います。</p>
	小島委員	<p>アンケート調査については、ただ一つなのですが、妊娠中の喫煙、あるいは子育て中の喫煙の問題を取り上げておりますけれども、妊娠中の飲酒のこともお伺いしたいと思いますが。</p> <p>全体についてですが、この母子保健計画は今までなかったのですか。それと、母子保健計画ではあっても、お話の内容を伺い、国においても、すこやか親子21、県でも親と子の輝く笑顔のために、親子を対象としていながら、いざとなると母子保健、やっぱり、母子保健という言葉は歴史的にあるので、たまたまそうなったのではないかと思いますので、この計画の内容を伺っていますと、親子保健計画と、父親も含めて、そこまでの方がいいのではないかと感じがしますので、それらについての所見を。</p> <p>それから、先ほどもでましたけれども、8ヵ年で途中に見直すとしていますが、市の総合計画の実施計画は19年が目標年次、基本計画は24年度が目標年次ということで、ちょっとずれているのですが、市の総合計画との関連については、どうなのですかね。</p> <p>それから、添田さんから出ましたけれども、祖父母の子育ての問題、特に保育園に行っているのが普段はあまり関係があっても、子どもが熱を出すと祖父母の所に預けるということで、祖父母が子育て、あるいは家庭教育に占める比率が高くなっている。それを捉えるべきではないか。</p> <p>それに関連して、既婚女性の就業率向上というのは、国全体として、また宇都宮市としても、一つの大きな課題だと思いますが、そういう就業率向上と、出産・子育てが今までうまくいかないから就業率が上がらなかったと思うのですが、そのお母さんが働いていると出産・子育てが大変だから少子化なのだというのと、先ほどでたアンケートで時間がないのでストレスが多いからという、そういう理由も少子化の原因であると思う。少子化の分析がこの計画の策定の段階で得られるのかどうか、そういう問題について、いろいろまとめましたけれども、ご意見を伺いたいと思います。</p> <p>4つほど結局順序だっただけでございます。</p>

議事等	発言者	発言内容
	健康課長	<p>まず、妊婦中の飲酒の件ですが、タバコとか飲酒につきましては、健康うつのみや21の時でも取り上げさせていただきました。その中で、タバコをあえていれさせていただいたところがございます。飲酒につきましても、足りないものは入れさせていただければと思います。</p> <p>それから、今回宇都宮では初めての計画でございます。</p> <p>母子保健という言葉でございますが、これにつきましては確かに国や県は健やか親子、県も別枠をつけているところがございます。今私達でも、いろいろ内部でも話しが出たところでございますが、母子保健法とか母子保健の分野の計画というもとで、現段階ではこういった形で計画を出させていただいてございますが、最終的には別な形の名前の付け方も検討していくといった話しが出ているところがございます。</p> <p>それから、祖父母の子育ての件につきましては、アンケートの項目にするかどうか、または別の形で情報を取るかどうかはよく検討させていただければと思います。</p> <p>それから期間の関係につきましては、これは実は先ほど22年までの8ヵ年計画と申し上げたところがございますが、国は特に10ヵ年の計画ということで、打ち出しております。国が作って県、それから市町村となっている中で、終わりを統一した形で、計画作りが進んでいるということがございます。</p> <p>それから、既婚女性の就業率の向上と問題につきましても、アンケートの中でも聞いている部分もございます。</p> <p>また、全体的な形といたしまして、アンケートが全てではなくて、それ以外のいろんな形で意識調査をやったもの、各種データも含めて現状分析・課題を出していければと考えております。</p>
	小島委員	<p>分かりましたが、この計画と少子化対策との関連があまり見えてこないですね。親子が健康で子どもを産んで育てられれば、少子化対策は解決するのだが。少子化がまずいとすれば、より多く子供が産める環境を含めた計画であってほしいと思います。それはまた別の問題なのか。</p>
	健康課長	<p>少子化対策については、母子保健だけではなくて、いろんな問題があるかと思えます。母子保健の分野につきましては、少子化対策の中の大きな柱ではございますが、それで母子保健計画だけで少子化対策が全て網羅できるというものではなくて、少子化対策の中での一つの大きな幹であると考えるところでございます。</p>
	会長	<p>私も、これをもってきて、これをやって欲しいと言われた時に、少子化なのだろうって言ったが、少子化はエンゼルプランがあるだの横の連絡があまりないから、周産期死亡率がどうのこうの言われても、ここで話合いてもどうにもならないのですよ。私は少子化対策なのだと思います。宇都宮独特のやり方でやっていかなければならないと思います。</p>

議事等	発言者	発言内容
	小川委員	<p>目的がはっきりしていないのが、やりづらいところであると思います。</p> <p>少子化に関しやっていくのが一番かと考えておりますが、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>私はこれを聞いたときに、少子化対策っていうふうには捉えなかった。今、宇都宮栃木県も含めまして、非常に子どもの性というのが問題になっているかと思うのですね。どうして親になるかっていう基本的な考え方が、まず教育がなされていないと思う。性というもの、中絶がやたらと多いということ、性というものはどういうことなのか。このアンケートの中に、中絶に関するものが実際に入っていないようです。聞くところによると、中学生くらいまで援助交際が下りてきているっていう時代がききます、そういう中でアンケートの中にどういう形で入るか分かりませんが、そういったものを入れて、少しでもくいとめられるような方法がとっていただけたらいいと思うし、素晴らしい親になるための、こういう母子保健的なものもあっていいのではないかと思います。</p>
	岩淵主査	<p>中絶に関する内容のことですが、アンケートでとると数少ない率になってしまうと思うのですよ。実はですね、県のほう全体的な数として、性に対する実態調査というものを、中学生・高校生に対して、県内の産婦人科を標榜する医療機関にお願いいたしまして、アンケートの実態調査を実施した数がまとまってある。</p> <p>その中で、医療機関に受診して、妊娠継続したとか中絶したとか流産した等ということで、意識のものも含めましてデータございますので、そちらの数を宇都宮のデータとして使えるのではないかと考えているところです。</p>
	会長	<p>それ私も持っているが、いろんなことを報告しているのですが、初交年齢は16歳と、これを驚くか驚かないかは委員さんの判断にまかせて、こういった資料もありますので、委員さんに渡せるといいのではないかと思います。</p>
	健康課長	<p>次回用意してお渡ししたいと思います。</p>
	小池委員	<p>母子健康保健の内容がとても幅が広いなと思ったのですが、中で乳幼児の不慮の事故死亡が先天異常に次いで多いという項目があるのですけれど、これは不慮の事故による死亡よりも先天異常の子の方が多いということですね。それで、今少子化の中で、子どもが産まれない、もてないというお母さん達が非常に多いと思います。自分の周りでも実際に、奇形をもっているお子さんを持ったお母さんも増えてきます。その中で、少子化のこととか、高齢化のこととか、健康のこととかで、環境ホルモンについてとか、安全性について広く市民に伝えていくということは、この計画の中にはないのでしょうか。</p>

議事等	発言者	発言内容
	健康課長	<p>例えば、母乳についてなどは入ってくると思いますが、もっと大きい環境の問題につきますと、ちょっと母子保健という分野から、外れていくのではないかと考えられます。</p>
	会長	<p>もう少し、アンケートの結果を踏まえて、目的を書いてはあるが、もっとはっきり分かりやすくしてもらえば。</p> <p>母子という言い方するのもおかしいと思います。それなりにもっといい言葉を、市民に溶け込めるようなものをとっている。</p>
	今井(キ)委員	<p>調査項目の子育て期ですが、ここに細かく書いてございまして、子どもを預かってくれる人や、場所の有無ということで書いてございしますが、この少子化について、育児の不安とか悩みの問題とかあるのですが、気軽に相談できる親と一緒にいける場所ってというのが宇都宮では少ない気がする。</p> <p>今後宇都宮市での取り組みが見えてくるのではないかと考えている。今問題になっております、マンションとかアパートとか公園等で孤立している親がたくさん多いと思いますが、そこで問題を抱えている親子が気軽に行ける場所というのが少ないと感じますので、その辺のところの項目を入れてもらいたいと思っております。</p>
	健康課長	<p>項目として、考えさせていただければと思います。</p>
	中山委員	<p>先に予断を申し上げますと、人工妊娠中絶実施のデータが、鳥取県が1位で栃木県が2位になったとおっしゃるのですが、教育正常県ですね。それを誇りに思っている先生方が、問題があるのではないかと感じました。これは脱線です。</p> <p>実はもう母子の時代ではないはずで、夫婦が育てるということになっていますので、それが柱になって策定の概要がでてこないとおかしいのではないかと感じていました。</p> <p>それから、グル-インタビューのことですが、こんな悲壮的なものばかりが出てきているということで、参考のためにお出しになったのか、これはこの委員会だけにお出しになったのか、こんなんじゃないですよ絶対。子育てしていることが、うれしくてしょうがないという方たくさんいます。ここに時間がどうのこうのとありますけど、こういうことが、子どもを育てる少子化にわざわざしているようなことがあるような気がするのです。こういったものは、ここだけの委員会で集めて捨ててください。こういうものは良くないです。みなさんお若い方だから、必要ないです。</p> <p>そういう意見を言わせて頂いて、今でできました親子の問題として、これを取り上げて下さい。今井委員さんが言いました親子が集まってということは、子供の家の午前中がやっているはずですので、もっとPRをしていただき、是非利用していただくようにしていただきたい。</p> <p>アンケートの調査ということをもっと皆様がおっしゃったことを踏まえて、是非親子とかの計画とかでアンケートを取っていただきたい。</p>

議事等	発言者	発言内容
	健康課長	<p>グル- プインタビューにつきましては、これで全てとは思っていないと考えているところですが、十分計画の内容につきましては、気を付けて利用させていただきたいと思います。母子保健という母子という言葉は、十分検討させていただければと思います。子供の家についても、市としましてはPRも進めていきたいと思っています。</p>
	会長	<p>母子というと、母子家庭というイメージが真っ先に出てきてしまうものですから、シングルマザーとかあるので。</p> <p>時間もおしてきましたので、この後健康まつりのこともあるようですので、ご意見なければこの辺で終わりにしたいと思います。ご協力ありがとうございました。</p>
	保健福祉総務課 課長補佐	<p>長時間にわたり、ご審議いただき、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、「平成 14 年度 第 3 回宇都宮市保健衛生審議会」を終了させていただきます。</p>